

クリスマス・ピース

Christmas Peace



The Salvation Army
www.salvationarmy.or.jp

ときのこえ
クリスマス特集号
2023



祈り クリスマスの準備

愛する神様。時折わたしはクリスマスの商業主義に惑わされます。

本当は、ほとんどそうです。

きょうわたしは心をもう一度集中して、なぜこのすばらしい日を
祝うのかを思い出すことにします。

わたしはきょう、そしていつでも、イエスを祝います！

イエスの名によって祈ります。

シャロン・ジェインズ

救世軍公報 ときのこえ

発行日 福音版 / 毎月 1 日、広報版 / 奇数月 15 日

定 価 福音版 / 1 部 40 円、広報版 / 1 部 100 円

クリスマス特集号 (12 月 1 日号) / 1 部 100 円

発行兼 救世軍

印刷人 代表者 スティーブン・モーリス

編集人 山谷 真

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17

電 話 03-3237-0881 (代表)

M a i l jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org

発行所 救世軍本営

印刷所 ピーアンドエス

<https://www.salvationarmy.or.jp>



救世軍への連絡をご希望の方は、以下の項目の中から該当するもの及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)にご連絡ください。

- 近くの救世軍を紹介してください。
- キリスト教について知りたいです。
- 『ときのこえ』の購読を希望します。
- 相談を希望します。

救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。



クリスマス・ピース Christmas Peace

ときのかえ クリスマス特集号 2023

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。
ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。

聖書 イザヤ書9章5節



もくじ

クリスマス・メッセージ クリスマスの中心にあるもの 第22代救世軍大将 リンドン・バッキンガム	p.2	クリスマスの祈り	p.16
クリスマス・メッセージ 最もすばらしい贈り物 軍国女性部会長 ウェンディ・モーリス	p.4	証言 すべてをイエス様のために ジェラルド・マルドナード	p.18
インタビュー 出会った人たちの言葉をお預かりして 最相葉月さん	p.6	ファミリーページ はじめてのクリスマス クリスマス・クッキング クリスマス・クラフト	p.20 p.22
ご案内 救世軍 on Web	p.11	救世軍とは？	p.24
証言 災害に向き合う日々を通して ダマリス・フリック	p.12	世界をみつめて	p.25
		小隊(教会にあたる)・社会福祉施設・病院・その他施設	p.26
		社会鍋	p.28

クリスマス・メッセージ

クリスマスの中心にあるもの

第22代救世軍大将
リンドン・バッキンガム



それは見慣れた光景でした。クリスマスの音楽が流れ、華やかなライトと装飾品で飾られた通りを、大勢の人が楽しみながら歩いていました。その突き当りに、一軒の家がありました。薄暗い芝生の庭に、キリスト降誕の様子を表した人形が入った小さな箱が置いてありました。ほとんどの人は見向きもせず、通り過ぎました。その家に到着する前にクリスマスのディスプレイはすでに終わっているように見えたからです。けれども、まさにそこには、クリスマスの本質がひっそりと表されていたのです。派手な装飾はなく、ライトも音楽もひとつもありません。ただ、私たちの救い主となるためにお生ま



れになった方に、静かに焦点があてられているだけでした。

私たちは、その静かなクリスマスの本質を簡単に見過ごしてしまうことがあります。クリスマスの物語を見聞きしている時でさえ、その中心にあるメッセージを見逃し、聞き逃してしまいます。聖書の4つの福音書の作者たちは、それぞれ違った見方でクリスマスを表現しています。クリスマスの物語はマタイとルカにしか書かれていない、という人もいますが、私は、それぞれの福音書にはそれぞれ特別な視点が描かれていると考えています。

マルコによる福音書は、福音書の中ではおそらく最も古いものですが、ここには、イエス様の誕生や幼少期の頃の物語は書かれていません。マルコの「クリスマス」は、冒頭にある「神の子イエス・キリストのすばらしい福音一救いの知らせの始まりは、こうです」(リビングバイブル)という言葉に込められています。イエス様は神の子であることが最初から示されている、このことが福音なのです。

ヨハネによる福音書にも、誕生や幼少期の頃のことは書かれていません。ここでは、クリスマスの最も大切な部分は神様の御心みこころから生まれている、と



ということが示されています。それは、神様の言ことばが肉となり、恵みと真実にあふれ、私たちの世界に住まわれた、ということです。

マタイによる福音書は、イエス・キリストの系図として、多くの名前を連ねた長いリストで始まります。つい読み飛ばして、大事なことを見逃しやすい箇所です。このリストには、世間から厳しい批判を受けたにもかかわらず、驚くべき信仰を示した5人の女性が含まれています。義父をだまして妊娠したタマル。イスラエルのスパイをかくまった遊女ラハブ。軽蔑されていた外国人ルツ。不倫をしたバト・シェバ。未婚の母マリア。これらの女性たちはすべてイエス様の系図の一部です。後にイエス様が罪人の一人と見なされたとすれば、それはひとえにその家系のゆえと見ることもできるでしょう。私たち人間は、罪深く弱い存在です。それでも、イエス様は信仰をもって生きる私たちとつながってくださいます。

マタイは、インマヌエル^{*1}であられるイエス・キリスト、すなわち、私たちと共におられる神と、私たちの人間性とのつながりを示しました。これらのことはすべて、伝統的なクリスマスの登

場人物である占星術の学者たちが王としてお生まれになったお方を探しに来る前の出来事です。

ルカによる福音書には、イエス様こそが救い主、主なるキリストであると告げる天使たちが登場します。この御告げは、誰もが予想していたような人々ではなく、羊飼いたちに最初に届けられました。羊飼いはその仕事の性質上、宗教的にのけ者にされている立場の人々でした。このように、社会の片隅で生きている人々のために、イエス様は救い主として来られたのです。

それぞれの福音書に、クリスマスに対する異なった視点が描かれています。私たちがクリスマスの物語の罨おぼろにかかってしまうことは、よくあることです。それは例えば、どの福音書にも書かれていないにもかかわらず、私たちが習慣的におこなっていることです。そして、聖書に書かれているにもかかわらず、静かなクリスマスの中心にあるものを見逃してしまうことです。

今年、福音書がイエス様の到来について私たちに何を伝えようとしているのか、もう一度目を留めることができるは
(←次ページ下へ続く)

第22代救世軍大將 リンドン・バッキングラム

救世軍最高指導者（万国総督）。ニュージーランド出身。1990年に救世軍士官（伝道者）となる。ニュージーランド・フィジー及びトンガ軍国、カナダ及びバミューダ軍国で奉仕。2013年からシンガポール・マレーシア及びミャンマー軍国（当時）の司令官、2018年から英国及びアイルランド軍国司令官、万国本営参謀総長を経て、2023年8月3日に第22代救世軍万国総督・大將に就任した。



*1「神は我々と共におられる」の意味のヘブライ語

クリスマス・メッセージ

最もすばらしい
贈り物



ウェンディ・モーリス

メリークリスマス！

このクリスマスは私にとって日本で過ごす二度目のクリスマスです。日本ではどんなふうにクリスマスを過ごしているのか、私にとって、今年も初めての発見があるだろうと期待しています。

アメリカで祝っていたクリスマスと日本で祝うクリスマスには、たくさんの共通点があります。まずクリス

マスツリー。日本に来てから、今までに見たことのないようなすばらしいクリスマスツリーのデコレーションをしています。東京でのクリスマスのデコレーションというのは、世界のどこに比べても勝るとも劣らないすばらしいものだと思います。そして街を歩いていると流れてくるクリスマスの曲も、懐かしいもの、よく聞いたことのあるものです。声に出

して一緒に歌わないようにと気をつけなければいけません。そして日本とアメリカの文化を比べて、オーナメントも似ています。日本でも、様々なオーナメントが売られていて、自分の好みのオーナメントを買い求め、飾ります。

アメリカでは「クリスマス・ストッキング」と呼ぶ、家族全員分の靴下をぶら下げるといふものがありま

〈→前ページより〉

ずです。罪人や、社会から追いやられた人々のために来られたお方。王となるために来られたお方。インマヌエル、私たちと共におられる神となるために来られたお方。私たちの救い主となるために来られたお方。永遠に存在されるお方です。

一年の中でも慌^{あわ}ただしいこの時期ですが、静かなクリスマスの本質、すなわち、イエス様がどんなお方であるかという真実に心を向け、深く知

ることができますように。イエス様は神の独り子、肉となられた永遠の言、私たちの王、インマヌエル、救い主、主なるキリストです。

「ああベツレヘムの きよきみ子よ
今しもわれらに くだりたまえ
ころをきよめ 宮となして
今よりときわに すまいたまえ^{※2}」

と賛美しましょう。

クリスマスの時、また、新しく始まる一年も、皆さんに神様の祝福がありますように。

* 2『救世軍歌集』38番「ああベツレヘムよ」4節

すが、これは日本ではどうでしょうか？ アメリカではクリスマスの朝に起きると靴下にお菓子や色々なものが詰めてあるのですが、今年も私の夫がその準備をしてくれることを願っています。

また、クリスマスのカードを送り合うということも共通しています。私が今年受け取ったカードは、今までにないほどすばらしいものでした。これを見ますと、たとえ文化や言葉に違いがあっても、クリスマスを祝う目的は同じであることを確認することができます。そのカードには女性が赤ん坊を抱いている絵があり、これはまさしくマリアが赤ちゃんのイエス様を抱っこしている姿です。マリアが日本の和服を着ている姿を私は初めて見ました。愛情を込めて赤ちゃんを抱っこしているマリア。きっと自分がクリスマスのストーリーの中に含まれることになるとは思ってもいなかったことでしょうか。まだ若い女性がイエス様をこの世に産み落としたのです。そしてそれは、今までで最もすばらしい贈り物でした。聖書のルカによる福音書2章19節を見ると、「しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた」と書かれています。

日本でもクリスマスの時期はお互いにプレゼントを贈り合います。今年の12月25日、クリスマスを迎える時に皆さんが誰かからプレゼントを受け取る時、またプレゼントをどなたかに贈る時、この最もすばらしい贈り物のことを思い起こしていただきたいと思います。ツリーやカードといった様々なクリスマスを象徴



するものがありますが、イエス・キリストという最もすばらしい贈り物をぜひ心に留めてください。そして今年のクリスマスが今までに一番すばらしいクリスマスとなりますように願っています。どうぞ、この時、皆さんお一人おひとりを神様が豊かに祝福してくださいますように。

日本ではこの時期に社会鍋（街頭募金）が始まります。12月10日から様々な場所で社会鍋が街角に立ちます。この社会鍋の取り組みにご協力いただければ幸いです。お寄せいただいた資金は、困難な状況にいらっしゃる方々のために用いさせていただきます。救世軍の取り組んでいるプログラムに用いられていきます。また、オンラインでQRコードからご献金いただけます。日本での救世軍の働きのため、皆様のご協力を心から感謝いたします。

(救世軍士官〔伝道者〕、軍国女性部会長)

インタビュー

出会った人たちの言葉をお預かりして 最相葉月さん



2023年1月、構想10年、取材6年の大著『証し 日本のキリスト者』（KADOKAWA）を刊行した最相葉月さん。北海道から沖縄、五島、奄美、小笠原まで全国の教会を訪ね、キリスト者135人の語りに耳を傾け、『証し』（キリスト者が神からいただいた恵みを言葉や言動を通して人に伝えること）のタイトルを付してまとめられました。構想のきっかけや取材を通しての思いをお聞きしました。



—この本をつくろうと思われたきっかけをお聞かせください。

長く精神医療やカウンセリングの世界を取材してきたことは前提にあります。カウンセリングを戦後、日本に紹介した人が宣教師の息子だったこと、またカウンセリング自体が、キリスト教を「脱色」するような方向で成立してきたものだということから、キリスト教とはどういう宗教なのかと思わされたこと、それが大きなきっかけの一つです。

もう一つが、『ナグネ』という著書で書いた中国朝鮮族の女の子との交流です。彼女は出会って20年ほど経つ娘のような存在ですが、中国の地下教会の非常に敬虔なクリスチヤンの家庭に育った人で、わたしと話をしても、キリスト教を信じるように、聖書を読むようにとすぐく迫ってくるんです。彼女を理解したいという思いもありました。この二つはとても大きなきっかけです。

わたし自身、教会附属幼稚園に通

っていて、お祈りをする、クリスマスに聖誕劇をしたこともありました。小学生の時は友達に誘われて日曜学校にしばらく通っていて、オルガンで賛美歌の伴奏をしたりして。大学もミッションですが、当時はキリスト教会とは離れていました。そういう意味で、自分は決してキリスト教に無縁ではなかったという前提もありました。

そのころ長崎の教会群が世界遺産になったり、遠藤周作の著書『沈黙』の映画が公開されたりしました。そういう話は文学や小説でも描かれて割とよく知られている。でも、じゃあ、今、生きている、日本にいるクリスチヤンとはどういう人たちなのか。私の知り合いの『ナグネ』の彼女のような人たちなのかどうか。今の日本に暮らしてお祈りしている人たちの話を聞きながら、その祈りの意味や、神がどういう存在なのか、災害や事件・事故のような不条理に対してどのように向き合ってきたの



最相葉月（さいしょう はづき）さん
プロフィール

1963年、東京生まれの神戸育ち。関西学院大学法学部卒。科学技術と人間の関係性、スポーツ、近年は精神医療、カウンセリングをテーマに取材。97年『絶対音感』で小学館ノンフィクション大賞。2007年『星新一—〇〇—話をつくった人』で大佛次郎賞、講談社ノンフィクション賞、日本SF大賞、08年同書で日本推理作家協会賞、星雲賞。ほかに著作『青いバラ』『いのち 生命科学に言葉はあるか』『ビヨンド・エジソン』『セラピスト』『ナグネ 中国朝鮮族の友と日本』『中井久夫 人と仕事』等。ほかエッセイ集、児童書など多数。

か、聞きたいと思ったんです。人に会いたい、人の話を聞きたい。それで全国、離島も含めて、訪ねて行ったわけです。

取材を続けさせたエネルギーは何だったのでしょうか。救世軍のメンバーも取材されています。

取材中は一心不乱ですが、ある牧師夫妻に、「最相さんの後ろでイエス様が背中を押しているの見える」と言われた時がありましたね。本当に見えない力で、次の人とめぐり合わせていただいていたという気がします。このような所でこの人に会うだろうか、と思うような驚きが何度もありました。

取材というのはだいたい計画して、依頼状を出して訪問してというのが基本なのですが、この取材は、意図してのものでなく、伺った先の教会でたまたま出会ったことをきっかけにつながっていったことがとても多くありました。救世軍の方の取材も、他の教派、教会でもそうでした。また、北海道の開拓時代のお話をしてくださった正教

会の信徒さんは取材後しばらくして亡くなられ、神父様は、彼女のお話を聞いておいてもらって本当に良かった、とおっしゃいました。そのように言葉を記録できたのは、わたしの思いを超えたことでした。

救世軍を知ったのは、小説の中にかかれていたものを通してだったと思います。社会鍋のことだったでしょうか。とても歴史がある、しかも慈善活動が重要な位置を占めるキリスト教の教派だということは昔から認識していました。今回も、神田神保町は古書店もたくさんあってしょっちゅう来ていましたので、救世軍の本営（本部）前を通るたびに、ここは取材させていただかないといけないなというのは最初から感じていました。そして神田小隊（教会にあたる）から京橋小隊、さらに多くの方につながっていきました。高松小隊でもいろいろな方と出会わせていただきました。

一壮絶な体験をされた方々のお話もあります。内容の生々しさに衝撃を受けたという感想も聞きました。

皆さん本当にお話しくださいましたね。ただ、わたし自身は「証しを聞かせてください」という取材はしていないんです。キリスト教のなかで「証し」という言葉がどういう意味をもつのかは、取材しながら知っていきまされたので。これだけお話を聞いて、テープを聞き返し、文字に起こして読み返し、順番をどうするかとか、いろんなことを考えながらやっていった時に、「ああ自分は、証しをお聞きしてきたんだ」と、最終的にまとめる時に感じました。それくらいの重いものを皆さんが語ってくださった。ということで『証し』という題にしたのです。

なので、特にクリスチャンの方には、タイトルから教会の証し集と同じようなものと思われやすいのですが、そうではなくて、あくまでもノンフィクションとしての作品です。一般の読者にはわからない独特の言い回しについては、それはこういうことでしょうか、と聞き返して、つっこんで聞きました。確認したり別の言葉で言い換えてみたり。厳しい体験をなさったことも、最初はあまりはつきりおっしゃらないところを、「差し支えなければもう少し詳しく教えてくださいませんか」とお聞きして。そういう取材によってだんだん生々しくなっていくのかなと思いますね。

—取材を通して、最相さんのなかでの変化があったでしょうか。

取材の過程でわたし自身がすごく変わっていているという気はしました。やはり最初はいくまでも取材者として、テーマや企画趣旨、見取り図みたいなものがあってわけですが、途中からはあまりそういうこと

は考えずに、お会いした人の言葉をただただお預かりしようという感じになっていきました。

他のメディアの取材やいろいろな方から、「クリスチャンになろうと思わなかったですか」と聞かれました。何度もそれは思ったんですよ。でも、どこかに所属するのかと思うと、取材中はそれはやらないほうがいいだろうと。本当に教派を超えてお会いしていますので、自分は一つのところに立たないほうがいいんじゃないかと思ひ、そうならなかったということですね。終えた今もまだこの本の影響を私自身が受けている状態で、それは信仰者としてキリスト教と向き合っている状態とは違うわけですね。この本の影響がなくなった時にどういうふうになるか。それはまだわからない、ということです。

—イエス様にインタビューするとしたら何をお聞きになりますか。

イエス様にインタビュー……してみたいですね(笑)。「あなたが神となり、キリスト教が成立したこと、聖書が書かれて、いまこの時代にも大ベストセラーとして読まれ続けていることをどう思っているのでしょうか?」と、それは伺ってみたいですね。今、聞いておられるかもしれませんね(笑)

—キリスト教を、最相さんご自身の助けとか力として感じられたご経験はありますか。

やはり取材中のことです。ずっと神戸にいて遠距離介護をしていた母が2020年に亡くなりました。もともと30年くらい若年性認知症で、介護が

必要な時間が長かったのですが、最後は東京に連れて来て、近くのホームに入ってもらって通うようになりました。その時には「母をお守りください」と祈る気持ちはありました。わたし自身もすごくしんどかったので、この事態に耐えられる強さを与えてください、というお祈りも。取材で礼拝に通わせていただいたり、牧師先生、神父様のお話を伺うことができたりしたのは、たくさん支えがあるような気持ちで。あの期間は、わたし自身がとても支えられているという気持ちで歩いていました。

母は、最後の厳しい病状の時、まったく痛いとも言わず、苦しがりなかつたんです。認知症はありましたけれど、痛かったら痛いと言うと思うんですね。だから神様が先に痛みをもっていってくださったんだ、とわたしは思いました。そう考えることで自分自身も楽にさせてもらおうというか。そして母は、麻酔や鎮静剤も全く使わず、本当に苦しまずに亡くなりました。「祈りを聞いてくださった、神様が」という気持ちでした。

そういう状況にありましたので、いつでもクリスチャンになりそう、という、いま引っ張られているな、という感じはいつもありました。

―クリスチャンやキリスト教会に向けて伝えたいことがありましたら。

自分がクリスチャンだということを、会社や学校で人に言ったことがないという方が多くて驚きました。本当はキリスト教というのは伝えてなんぼ、というものだから、それができていない自分を反省する方もいらっしゃるんで



すよね。いま特に宗教二世の問題などもクローズアップされて、注意されるところがあるとは思いますが。わたしは取材とともに、この間、聖書の勉強をさせていただいていて、初代教会の信仰者の生き方を知ると、その格闘というか、この世界をどのようにしていきたいと願っていたのかが見えてきて、それはやはりすばらしいことと思うんです。虐げられたり、苦しんで小さくされた者たちのために、互いに愛し合いなさいとイエス様はおっしゃった。それはかけがえのないメッセージですね。隠さないでください、そんな大切なもの。すばらしいものをもっていらっしゃるんだから、言葉にして伝えていただきたいなと思います。

―宗教を取り巻く日本の状況についてもう少し伺えますか。

たまたまこの本を出したのが旧統一協会問題が起きた時と重なりました。わたしたちは往々にして「カルト」という言葉を使い、そう言った瞬間に、そこで生まれ育った人たち、環境がそうだった人たちまでも敵視や差別の対象にしてしまう。けれど正統と言われている教派にも同様の

ことは起きていて、今回の取材でもそのような経験を語られた方もいました。カルトだから排除しろ、ここは認められている正統派だから大丈夫というのではなく、どんな宗教にも歪む可能性はある、それを知っておくのが大事なんだと思います。

ただ旧統一協会は、たいへん問題がたくさんあるので、なかなか一緒には語れないのですが。すごく難しいことですね。その度に考えなければならぬ、考えるのをやめてはいけません。カルトという言葉で思考停止してしまうのではなく。

この『証し』の本についてのある書評に、「みんな疑いながら信じている、それが描かれている」と書かれていました。ああ、なるほどと思ったんです。みんな疑っている、自分の信仰を。それは盲目ではないということなんですよ。洗礼は出発点で、人生が続いて、いろいろなことが起こる中で、考えに考え、信仰のあり方もまた変わっていくという…。

迷いがあったり、壁に当たったりする時に、クリスチャンの方たちは、「神はきっとこのことの中に何かの意味を与えておられる」ととらえますね。本当に絶望した時、神に怒りをぶつけながらも、「なぜ神はこれをわたしに与えたのか」ということを問うておられる。それはすごく意味があって、生きる力になっていると思うんです。その問いがなく、この世や他人への全否定という方向へ転換していくのとは大きく違うと思います。

ただ、今回の本の中でダウン症の

子どもさんを亡くした方のお話のように、それでもやっぱり悲しみは消えないし、神様なんて、という思いもあるんですよ。少しずつ教会に戻ろうとしながらも、まだ全面的に信じているわけではないともおっしゃる。だからやっぱり疑いながら、でも変化しながらなんですよ。

—救世軍も災害支援に携わる機会があり、大きな痛みや喪失を経験した方々にお会いした時、かける言葉や失った経験もあります。

今そこにおいて苦しむ人に向かってかける言葉というのは、おそらくイエス様もなかったのではないのでしょうか。言葉をかけるのではなくて聞く、ただ耳を傾け、受け止める。イエス様自身もそうだったのではないかと思います。イエス様は、もちろんたくさん教えもあります、聞く人だったんだろうとわたしは感じています。徴税人ちゆうぜいにんの話も、虐げられた人たち、皮膚病の人、愚かな語りをしている弟子たちの話も、聞いていらっしゃいますよね。

カウンセリングというのも、もともとキリスト教のなかにあった聞く力が一つの技術になっていったということだと思えます。イエス様は聞く人だという視点で聖書を読むと、本当にたくさん聞いてらっしゃることがわかってきますね。

—本日は貴重なお話をありがとうございました。





救世軍公式ホームページ

<https://www.salvationarmy.or.jp>



救世軍公式 YouTube

救世軍 The Salvation Army、救世軍青少年部

<https://bit.ly/SArmyTube>



聖書のメッセージ、コンサート、恵みの証言、小隊(教会にあたる)訪問動画などを配信しています。ぜひチャンネル登録を!



チャンネル登録、
フォロー
お願いします!

◆救世軍公式 SNS

Facebook グループ：救世軍 TheSalvationArmy

Instagram：@SArmy_JP

X (旧 Twitter)：@SArmy_JP

Pinterest：@sarmyjp



◆ジャパン・スタッフ・バンドの公式 SNS 始動!



YouTube：Japan Staff Band of The Salvation Army ジャパンスタッフバンド

<https://www.youtube.com/@JapanStaffBand>

Instagram：japanstaffband_official

https://www.instagram.com/japanstaffband_official/

X (旧 Twitter)：救世軍ジャパンスタッフバンド

<https://twitter.com/japanstaffband>



あかし
証言 (信仰の体験談)災害に向き合う
日々を通して

ダマリス・フリック

ウクライナからの避難民緊急支援の現場で
(ルーマニア・シレトで。写真右がダマリス)

世界中で地震や洪水、山火事などの大規模な自然災害が頻発し、戦争が起こっています。救世軍は創立当初から、災害被災地など人道的危機の現場で支援活動をおこなってきました。救世軍万国本営（国際本部）の緊急災害対策担当のダマリス・フリックさんに、世界の各地で救世軍が携わる人道的活動について話を聞きました。

災害が起こると、救世軍は直ちに^{ただ}行動を起こします。世界のどこかで何かが起こるとすぐに動き始めます。すでに何かが起こったとか、今にも起こりそうだと知ると、その国に救世軍があるかどうかを調べます。深刻な状態の場合には、その地域の救世軍の指導者たちに、何か支援することはないか、と尋ねます。そこからは現地の人たちが責任をもって動きます。支援が必要だ、と言うこともあるし、今のところ他からの支援の必要はないと言うこともあり、政府が動いている、と言うこともあります。ただ祈っててください、と言う場合もあるのです。

現在、救世軍は134の国で働きを進めており、それらは61の「軍国^{*}」にまとめられています。軍国の指導者たちは、ロンドンにある救世軍万国本営の災害対策本部に様々な支援を要請することができます。

軍国が災害支援のための資源が十分でないという場合、私たちは財政的支援を提供します。軍国からのプロジェクト提案には、命を救う緊急の支援一食料、飲料水、毛布、シェルターなどを提供するための緊急提案（これに対しては24時間以内に手配をします）があります。また、より大規模なプロジェクト提案もあり、そのためには、国際的な救世軍のネットワークを通じて資金を調達します。

シェルターを立ち上げたいが、やって来る人々をどう世話したらよいか、などの質問に対しての助言もします。また、必要な人材を派遣することもあります。災害直後の対応のためには、私たちのチームから短期間、人を派遣します。災害がおさまっても、その後の働きを見届け、助言するために働きます。

他の国の救世軍から被災地に担当者を派遣することも、まれにはある

^{*} 活動の単位となる地域ごとのまとまり。一つの国のことも、複数の国がまとまっていることもある



↑ 2011年東日本大震災発生時。万国本営緊急災害対策担当者と仙台小隊士官（当時）
2011年5月宮城県石巻市での支援→



のですが、そのことが益になる場合に限ります。最も理想的なのは、被災した国に住んでいる人々が用いられることです。その国の言葉を話し、理解し、地理や交通のこともよく知っているからです。その地域の救世軍の信徒たちが理解して、動いてくれることが最も望ましい働きなのです。荷物の積み下ろし、トラックの運転などの毎日の働きのために、人を雇う必要があります。そのような仕事のために世界の他の場所から人を送る必要はありません。飛行機代やビザや宿泊場所のことなど考えたら、理屈に合いませんし、費用もかかります。どの国にも、働ける人々はいますし、災害の後では収入を得たい人々がたくさんいるのです。

緊急災害対策チームの働きは、少なくとも週に一件、時には一日に数件の事態への対応になります。緊急支援に関わっていない時でも、長期の災害復旧支援のためにすることがあります。洪水や地震の後の住居の復旧作業などです。

1865年に英国で働きを始めた救世

軍は、それ以来ずっと、災害や危機的状況に対応してきました。その働きは二つの世界大戦の間にも続けられてきたのです。昔は「人道的働き」とか、「緊急事態対策」とかの言葉はなかったと思います。けれど、古い写真を見ると、爆撃で崩された建物を背景に、救世軍の給食車でドーナツや飲み物を提供しているのです。

危機的な状況に対応するということは、救世軍のDNA、最初からあるものなのです。そして1994年にルワンダで起こった大量虐殺以後、その働きは国際的になってきました。当時、ルワンダには救世軍はありませんでした。近隣の国々の救世軍と世界中の救世軍が、故国を失った難民の人たちを助けるためにチームを送りました。良い働きがおこなわれたのですが、ふりかえてみると、備えが十分ではなかったと悟りました。

ルワンダでの事態の後、救世軍は、人道主義に基づく働きの見直しをしました。最善を尽くして働き、資源を最大限に活用するためには、災害を取り扱うための永続的で、専門的なチームが必要である、と決断した

のです。

その結果として、緊急災害対策チームは、万全の備えをすることに焦点を当てて働きを進めることにしました。世界の救世軍で訓練を重ねています。それぞれの軍国の人々と共に災害対応について学び、計画や戦略を練ります。実際に何かが起こった時に、すでに計画が立ててあるので、「何をしたらいいのか」と現地の救世軍の人々が案ずる必要がなくなります。災害に苦しむ人々の益になるように、効果的で筋の通った働きをしていきたいと願っています。

地震が多く、火山の多い、環太平洋火山帯の中の国々のことを知っています。災害が起りがちな国々、サイクロンやハリケーンに季節ごとに襲われる国々があり、戦争や暴力に苦しむ国々があります。訓練を通して、状況が変わり、緊急事態が起こった時にすぐに対応できるのです。

その点から言うと、コロナ禍には目を覚まさせられました。世界中が何の前触れもなくこの災害の影響を受け、それまで災害対策プロジェクトの実施がなかった国々でも、たくさんの人々が苦しんだのです。コロナの対応については、国ごとに大きな差がありまし



パンデミックの最中
(左) インド南部軍
国での啓発活動
(右) タイで衛生用
品の提供

たが、今までに私たちが関わらなかった国々でも、世界のどこでも何が起きてもおかしくない私たちは気付かされたのです。

コロナ禍の初期、私たち万国本営の緊急災害対策チームは24時間体制で働きました。世界中が突然、この危機に直面し、何のガイドラインもなかったのです。マスクをつけるべきか、つけるべきでないか？ どんな働きを助けることができるか？ このような大規模の働きのための資金をどこから得られるのか？ 早朝から深夜まで働きました。一度に10の新プロジェクトに対応し、それぞれのプロジェクトに実務的な作業も山ほどありました。記録を残し、資金を送金し、広報に写真を送り…。夜の10時になってアメリカからメッセージが届き、早朝、日本から要望が届きました。世界中の働きに関わっているので、各地の時間帯に合わせて働きました。

世界的規模の災害以外にも、気を配ることは多くあります。災害が日曜日に起きれば、私たちは直ちにその軍国と連絡を取ります。通常の業務時間に収まる仕事ばかりではありません。一緒に働く人々の肉体的、精神的健康にも気を配ります。誰にも燃え尽きてほしくありませんし、個

人の生活を大切にしてほしいと思っているのです。

私と数人のスタッフは、世界にまたがる支援のためにロンドンの一室で仕事をしますが、孤独ではありません。災害対策の働きは、世界中の共に働く人々の力で支えられているからです。災害が起こると、私たちのチームは、そこで活動する人たちなのです。ナイジェリアで何かが起こると、ナイジェリアにいる私たちの仲間が、私たちのチームとして働いてくれるのです。彼らは地元であって、計画を実行し、働きを進めます。私たちの働きは、彼らをサポートすることです。世界中で救世軍の信徒や関係者たちがしている働きを、私たちは本当に誇りに思っています。それまで災害の中で働いた経験などない人々が、必要に気づき、動き出すのです。文字どおり、近隣の人々を助けるために、泥水の中に、洪水の中に、足を踏み入れていくのです。

近隣の人々のために、世界中の人々のために、心を配り、助けの手を伸ばす、これこそクリスチャンの信仰、救世軍の中心にあるものです。災害に苦しむ人々に応えていく、これはイエス様が私たちに望んでおられることだ、と私は信じています。組織として助ける、個人として多くの人々と共に助ける、その動機の底には信仰があります。被害に遭った人々を支えるために、できることをする、これこそ救世軍ではないでしょうか。世界中で起こる、考えられないような状況の中で、同僚、士官（伝道者）、ボランティア、職員の皆さんが、犠牲的な精神を



ポーランドでのウクライナ避難民支援



パキスタン水害の被災地支援

もって働く姿に、私はいつも心を動かされます。

災害に面と向かう毎日に、私は挑戦を受け、自分の信仰も変えられてきました。私が受け継いできた信仰は、もっと単純で、偏狭で、白黒はっきりしたものでした。今では、不確かなことや疑いもある旅ですが、今まで以上に自由があり、成長があり、平安があり、すべてを包み込むものだと思っています。なぜ人間には苦しみや痛みがあるのか、説明はできませんし、質問は多く、答えはもち合わせていませんが、神が愛であること、私たちは神を愛し、他の人々を愛し、自分自身を愛するように召されているという信仰に固く立っていきたい、と思います。できる限り、そのようにしたいと願っています。



クリスマスの祈り

prayer

クリスマスツリー

すべての樹木の創造主である神よ。喜びのシンボルであるクリスマスツリーに、豊かな祝福と恵みを注いでください。常緑の枝が、色あせることのない神の約束のしるしとなりますように。カラフルなライトと装飾が、この家と世界を愛で飾るよう、見る者に呼びかけますように。ツリーを囲むプレゼントが、キリストの十字架から人類が受け取った贈り物の象徴となりますように。わが家のクリスマスツリーの枝に、そして、わたしたちの心の中に、喜びと平和が宿りますように。アーメン

作者不明

クリスマスの食卓

万物の主よ。あなたの豊かさと、この日お生まれになった神の御子と、わたしたちに与えられたすべての素晴らしい恵みのゆえに、感謝します。この食卓の食物と、友人たちと、家族の上に、あなたの祝福を注いでください。また、今日食物に事欠いているすべての人々をかえりみてください。イエスの名によって祈ります。アーメン

デイビッド・ベネット

クリスマスの歌

ああ、最愛のイエス、聖なる幼子^{おきなご}。あなたのために柔らかく、新しいベッドを用意しました。わたしの心に、あなたをお泊めする静かな部屋を用意しました。喜びでわたしの心はずみま^つす。唇を閉じてはいられません。喜びにあふれて歌わずにいられません。いにしえから伝わる喜びに満ちた歌を歌います。いと高き天には、神に栄光があるように。神はその独り子^{ひとりご}を人類にお与えになりました。天使たちは、きよく深い喜びをもって歌います。地には御心^{みこころ}にかなう人々に、平和があるように。

マルティン・ルター

幼子イエス

主よ。あなたの善良さがわたしたちを通して現れ、わたしたちが神の^{にすがた}似姿となることができるよう、祝福してください。自分の力では、神の威厳、力、驚異を模倣することはできませんし、試みるべきですらありません。しかし、あなたの恵みは天から雲を通じて地に注がれました。

神よ。あなたは小さな赤ん坊となって、わたしたちのもとに降りてくださいました。最も偉大な贈り物である永遠の愛を与えてくださいました。幼子イエスよ。あなたの小さな手でわたしたちに触れ、あなたの小さな腕でわたしたちを抱きしめ、あなたの甘く柔らかな声でわたしたちの心を貫いてください。 クレルヴォーの聖ベルナルドゥス

クリスマスの 祝祷

クリスマスの星があなたに輝き、家と暖炉の温かさ、友人たちの歓声と善意、幼子の心に満ちる希望、^{いくせんいくまん}幾千幾万の天使の喜びが、あなたにあるように。
御子^{みこ}イエスの愛と神の平和が、あなたにあるように。

アイルランドのクリスマスの祝祷



MERRY
Christmas

あかし
証言 (信仰の体験談)

すべてをイエス様のために

ジェラルド・マルドナード
(米国南部軍国)

今年の夏、アメリカの救世軍から4人の青年が短期伝道旅行のため来日しました。リーダーのジェラルドさんの証言です。



アメリカのテキサス州ダラスで生まれ育ちました。小さな町のペンテコステ派の教会に幼い頃から通っていて、物心ついたときからお祈りをし、聖書の話も聞いていたので、イエス様は僕の人生の大きな部分を占めていました。成長するにつれて、教会のユースの集まりの手伝いなどもよくするようになりました。

そうしてずっと教会に行っていました。僕はエゴとプライドで盲目になっていたように感じます。教会の行事は幼い頃からやってきて何でもわかっている、自分は何でもできるんだという気持ちで。教会に行って、神様ではなく自分を賛美していたような気がします。神様について知ってはいたけれど、個人的なレベルでの神様とのつながりは知りませんでした。それで、15歳頃から少しずつ教会を離れるようになりました。

最初は、たいしたことではない、と思っていたし、教会に行かなくても、しばらくは「ああ大丈夫だ、うまくやってる」という感じでした。でも、学校を卒業した頃から悪いほうへ変わり始めました。酒を飲み始め、ドラッグをやり始めて、最終的にはドラッグを売

るまでになったのです。あまりにひどい状況になって、結局、家を出なければならなくなり、州の反対側、テキサス州西部に引っ越しをしました。そこでも、全くクリスチャンらしくはない仕事をし、当然の結果で刑務所に入ることになってしまいました。前科もたくさんつき、友達や、かつて持っていたものすべてがなくなって、気がついたら一人ぼっちで、とても孤独な場所にいたのです。

でも、その時、神様がいつもそばにいてくださったことに気づきました。神様は決して僕を手放されませんでした。僕は神様の手を手放したけれど、神様の手はいつもそこにありました。だから僕は、もし神様が助けてくださるなら、もう一度教会に行って、神様に仕えたい、とお願いしたんです。

神様の赦しに値しないような僕を、神様は寛容な父親のように赦し、助け、新しくやり直させてくださいました。そして、僕は救世軍に出会い、救世軍は僕が社会奉仕をするのを助けてくれました。その期間が終わった後、救世軍を離れることもできましたが、通っていた小隊(教会にあた

る)が家のように感じられて、とどまることに決めました。士官(伝道者)や信徒の方たちを通して神様の愛を感じました。小隊の人たちが、僕を愛し、受け入れてくれたのです。

ただ、小隊には週末に行くだけで、「日曜だけのクリスチャン」でした。ドラッグや何かをやっていたわけではないけれど、はっきりしない感じでした。ある日、同僚と話をしていたら、「君は本当のクリスチャンじゃない。もし明日死ぬとしたら、俺と一緒に地獄に行くだろう。君は俺と同じ生き方をしてるだけじゃないか」と言われたんです。

その時、イエス様のためにすべてを^{ささ}げようと決心しました。半々にではなく、教会の外でも、教会の中でも、僕がすることはすべてイエス様のためにするのだ、と。その後、青年たちを対象にしたイベントに参加して、この伝道旅行について知らされ、とても興奮しました。締め切り直前でしたが、僕がやりたいことはこれだ、と申し込み、こうして日本に来ることができました。

神様がこれから僕の人生に何を与えてくださるのか、とても楽しみです。イエス様のために自分の中にある火を、常に燃やし続けていきたいのです。教会でのどんなボランティア活動も、外に出て神様の言葉を宣べ伝えることも、イエス様のためにできる限りのこと

をしたいと思っています。

神様のための働きに、小さなことは何もないと感じています。伝道旅行の中で、東京の杉並小隊でカフェチャーチをしました。教会に立ち寄って涼んでもらったり、大人も子どもも来てもらえるシンプルなプログラムでした。僕は通りかかる人に声をかけてチラシを配りながら、この建物はどういう所で、ここで何をしているのだろうと思ってもらうことが大切なのだ、と気づかされました。多くの人がチラシを受け取ってもそのまま去ってしまったけれど、それでも僕はとても幸せで、チラシを渡せたことを誇りに思いました。キリストのためにできることは、小さく思えたとしても、種を植えるのと同じことで、チラシを受け取った人たちがいつか時が経ってから、教会のこと、神様のことを知りたいと思うようになるかもしれないからです。

僕はこの伝道旅行のリーダーとして日本に来ることができて、とても幸せで、祝福されました。これからも、チームの仲間と一緒に、神様の福音が広められ、人々の心に火が^{とも}灯されることを祈っています。



チームの仲間と、青年の集会で



【ものがたり】 はじめてのクリスマス

いま やく ねん まえ くに ちい むら
 今から約 2000 年くらい前、ユダヤの国の小さなナザレ村に、マリアと
 ところ かみさま しん おんな ひと す
 という心から神様を信じている女の人が住んでいました。マリアは、大工の
 けっこん やくそく
 ヨセフと結婚の約束をしていました。

ある日、マリアのところに、天使が現れて言いました。

「おめでとう、マリア。あなたは神様のお力によって、男
 こ を う む でしょう。その子には、イエスと名前をつけな
 い。」「(「イエス」という名前には「神は救い」という意味があります。)

マリアは、びっくりして言いました。

「どうしてそんなことがあるのでしょうか？」天使は安心させるように言いま
 かみさま
 した。「神様には、できないことはありません。」

マリアは、神様の力を信じて言いました。「お言葉どおり、この身になり
 ますように。」

天使は大工のヨセフのところにも、夢の中に現れて、言いました。「マリ
 けっこん
 アと結婚しなさい。マリアは男の子を産みます。その子には、イエスと名
 まえ
 前をつけなさい。」ヨセフは、天使の言うとおりに、マリアと結婚しました。



すう かげつ ご なか あか
 数カ月後、マリアのお腹の赤ちゃんは、ぐんぐ
 ん おお き くなり、今にも生まれそうなくらいになりま
 いま う
 した。ところが、国中に、人口調査のため先祖
 くにじゆう じんこうちよう さ せんぞ
 の町へ帰るように、との命令が出されました。ヨ
 まち かえ めいれい だ
 セフも先祖の町、ベツレヘムに行かなければなら
 せんぞ まち い
 なくなりました。

ゆっくりゆっくり旅をして、ようやく二人はベツレヘムに着きました。け
 と
 れども、泊まる所はどこも満員です。その
 まんいん
 うち、あたりはすっかり暗くなってしまう
 くら
 ました。ようやく見つけられたのは、動物
 み どうぶつ
 たちのための家畜小屋でした。二人は、い
 か ちくこや ふたり
 つ赤ちゃんが生まれてもいいように、動物
 あか う
 のエサを入れる飼料おけをきれいにし、
 い か ぼ
 赤ちゃんを寝かせるための準備をしました。
 あか ね じゅんび



その夜、空には数えきれないほどの星が輝いていました。



ベツレヘムの町はずれにある野原では、羊の世話をするため、羊飼いたちが寝ないで番をしていました。羊飼いの仕事は苦勞が多く、貧しい人のする仕事でした。

すると、突然、天使が現れ、空に明るい光が輝きわたりました。天使は、羊飼いたちに言いました。

「恐れることはありません。すべての人が喜ぶこととお知らせします。きょう、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。布にくるまって飼葉おけに寝かされている赤ちゃんがそのしるしです。」

羊飼いたちは急いでその赤ちゃんを探しに行きました。そして、天使の言っていたとおり、飼葉おけに寝かされている赤ちゃんを見つけることができました。マリアとヨセフの見守る中、すやすや眠る赤ちゃんイエス様、救い主です。羊飼いたちは、大喜びで天使が教えてくれたこと、見てきたことを周りの人に話しました。

しばらくすると、遠い東の国から、立派な服を着た人たちもやって来ました。星の研究をしている学者たちで、不思議な星に導かれて、イエス様を見つけることができたのでした。イエス様に「黄金、乳香、没薬」という高価な贈り物を献げ、



礼拝すると、喜んで帰って行きました。彼らは、イエス様を礼拝した最初の外国人でした。

クリスマスは、救い主イエス様の誕生をお祝いする日です。イエス様は、貧しい羊飼いや、お金持ちの人たちまで、すべての人の救い主です。このすばらしい出来事をたくさんの人とお祝いいたしましょう。





クリスマス・クッキング

簡単ミートローフ

材 料 4人分

- ・合いびき肉 500g ・玉ねぎ 1/2 個 ・食パンまたはパン粉 100g
- ・牛乳 100cc ・卵 5 個 *4 個はゆで卵に。 ・塩、コショウ、ナツメグ少々
- ソース：ケチャップ、ソース各大さじ 2
- つけ合わせ：ミニトマト、ブロッコリー、じゃがいも、人参、チーズ等

作り方

- ①玉ねぎをみじん切りにし、レンジで 3 分チンして、冷ましておく。
- ②ボウルに食パンまたはパン粉をほぐし入れ、牛乳に浸しておく。
- ③卵 4 個は沸騰したお湯に 7 分入れて、ゆで卵にし、きれいに殻をむき、両端を少し切り落とす。*肉だねの中間で並べる時取りまりを良くするため。
- ④ボウルに肉、玉ねぎ、食パン、溶き卵 1 個分、塩、コショウ、ナツメグを加え、粘りが出るまで混ぜ合わせる。
- ⑤クッキングシートを敷き、④の半量を牛乳パックくらいの幅で固めにして置き、中央にゆで卵を 1 列に並べ、残りの肉だねで覆う。
- ⑥クッキングシートで全体を覆い、両端をキャンディー包みのように絞って止める。
- ⑦肉汁がかなり出るので、耐熱皿にのせ、レンジで 12 分チンする。*または 220 度のオーブンで 40 分焼く。肉汁が出てきたらでき上がり。
- ⑧冷めてからミートローフを 1.5 センチ～2 センチの厚さに切って皿に盛る。まわりをトマト、ブロッコリー、星型やハート型に切ったじゃがいも、人参、スライスチーズ等で飾り、ソースをかけていただく。



④



⑤



⑥



⑧

クリスマス・クラフト

★クリスマスベル★

材 料

- ・カップ型の空き容器
- ・アルミホイル
- ・両面テープ
- ・ひもまたは幅の細いリボン 20cm
- ・緑の画用紙 3 × 5 センチ 4 枚
- ・赤色リボン 30 センチ × 2 本



作り方

①プリンやヨーグルトの空き容器をアルミホイルで包み中心部に錐などで穴をあける。

②ひもまたは細いリボンを半分に折り、結ぶ。容器の内側からひもの折り目を先端にして穴に通し、結び目で止まるように外側に引き出す。

③画用紙をヒラギの形に切り、裏に両面テープを張って、ひもを囲むようにアルミホイルの上から貼る。

④リボンを形作り、飾りひもの根元を隠すようにつける。でき上がり。

ワンポイントアドバイス

空き容器を使って簡単に作れるクリスマスの飾りです。たくさん作って天井からつるすととても雰囲気が出ます。飾りひもの結び目に鈴を通したら音も出ます。穴を簡単にあけるには、紙製のヨーグルトの空き容器がおおすすめです。クリスマスベルは、イエス様のお誕生を知らせるための鐘です。このうれしい思いをベルに込めて楽しみましょう。

★クリスマススワッグ★

材 料

- ・松ぼっくり
- ・丸環フック
- ・グリーンモス 1 袋
- ・レッドベリーピッグ
- ・リボンまたはひも、針金
- ・グルーガン、グルーガンスティック



※材料は 100 円ショップで揃います。

作り方

①松ぼっくりの中心部に錐で穴をあけ、丸環フックをねじ入れる。

②松ぼっくりの上部にグリーンモスをグルーガンでつける。

③リボンを形作る。赤い実到手芸用の細い針金を通し、リボンと一緒に松ぼっくりにつける。

④丸環フックにリボンまたはひもを通してでき上がり。

ワンポイントアドバイス

スワッグとは、ドイツ語で壁飾りという意味です。秋になったら、松ぼっくりを拾いに行きましょう。手軽にドライフラワーやドライフルーツを使って束ねて縛るだけでもスワッグとして楽しむことができます。



救世軍とは？ What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置く、世界 134 の国で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865 年、英国のメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、家のない人々、仕事に就けない人々、アルコールの悪影響下にある人々、搾取される女性や顧みられない子どもたちに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えました。やがて、これらの働きを効率よく進めるため、軍隊流の組織を取り入れ、「The Salvation Army（救いの軍隊・邦訳は救世軍）」と名づけました。制服・制帽も制定され、信徒は禁酒をし、アルコール依存症に苦しむ人々の回復支援にも積極的に力を注ぎました。



救世軍は、世界の各地で人々のニーズに応え、様々な社会福祉施設、病院、学校などをつくりました。また、国際的な協力体制のもと、災害被災者支援や内戦などによる難民の支援、開発途上国における教育・医療・農業指導などの自立支援をおこなっています。

コロナ禍にあっても、世界各地で、様々な支援をおこないました。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってからは、この危機で大きな影響を受けている人々への支援を続けています。また、世界各地で起こる山火事

などの自然災害によって被災した人々への食料品や物資支援とともに精神的、霊的なケアをおこなっています。



マウイ島の避難所での食事支援(米国ハワイ)

日本での働きは、1895（明治 28）年に始まり、伝道拠点の小隊（教会にあたる）を開設。廃娼運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童や女性の保護、アルコール依存症者回復支援など、時代に先駆けて様々な働きを興してきました。

日本人で最初に救世軍士官（伝道者）となったのは、山室軍平です。山室は、だれにでもわかりやすい説教と著書で、一般大衆にキリスト教を広めました。その妻 機恵子は、廃娼運動で救出された女性たちの自立支援、結核療養所設立のための募金など、山室と共に、神と人のために積極的に活動しました。



現在は、小隊と分隊（伝道所にあたる）、2つの病院（ホスピス併設）、各地の社会福祉施設を通して、働きを進めています。（26、27 ページに一覧掲載）



世界をみつめて

〈南アフリカ〉 創立 140周年記念集会

救世軍南アフリカ軍国（エスワティニ、レソト、セントヘレナ諸島、ナミビア、南アフリカ共和国から成る）は創立 140 周年を迎え、9 月末、世界の救世軍のリーダーであるリンドン・バッキンガム大将夫妻の指揮で記念集会をおこないま



した。大将夫妻はクワズールー・ナタール州の超教派の教会評議会リーダーや自治体の指導者たちと対談しました。また、救世軍の運営する「ジョセフ・ベインズ・チャイルド&ユース・ケア・センター」を訪問し、施設の 100 周年を共に祝いました。この施設は 0 歳から 18 歳までの子どもと青年たちの生活を支援し、現在は 80 人が利用しています。23 日には野戦（街頭での小集会）をおこない地域の人々に出会う時となりました。日曜日の記念礼拝には多くの人々が集い、様々な音楽で賛美が献げられ、大将夫妻を通して聖書のメッセージが語られました。

〈バングラデシュ〉 子どもたちへの教育支援

バングラデシュの救世軍は、暴力にさらされるリスクの高い少女たちを支援するために活動しています。貧しい住環境の地域で子どもクラブを運営し、女兒と男児を対象に、個人の健康と衛生、ジェンダーに基づく暴力防止、「前向きな男らしさ」などを学ぶプログラムを実施しています。コミュニティ・リーダーとして、救世軍で学びと支援を受けた若い女性たちがクラブを運営し、近くにある救世軍の診療所のスタッフも、健康教育に携わっています。



ここに通う女兒の何人かは、初等・中等教育を十分に受ける

ことができている。世界では女兒の 5 人に 1 人が中等教育を修了する機会が与えられていない中で、このようなコミュニティ・グループによって、少女たちは識字能力と理解力を伸ばし、基本的な教育を受けることができます。

世界の救世軍一統計 『救世軍年鑑 2023年』より

救世軍が活動している国	134
小隊(教会)と分隊(伝道所)	14,703
社会福祉の働き	
居住型施設(街頭生活者・高齢者・児童・障がい者・母子・難民等)	4,998
依存症回復施設(居住型)	220
同(その他のプログラム施設)	190
地域奉仕センター	556
デイケア施設(高齢者・ストリートチルドレン・保育・給食等)	3,453
住宅支援(高齢者・学生)	1,175
病院・診療所等医療施設	210
各種学校・幼稚園など	2,704
被災地・難民支援活動	219
救世軍兵士(信徒)・同友者	1,423,161



小隊 (教会にあたる)・ 社会福祉施設・病院・その他施設

クリスマスの礼拝など、お近くの救世軍へお問い合わせください。

関東東北連隊 (地区)

本部 高崎市寄合町 5-1
TEL 027-323-1337

桐生小隊 0277-45-3117
前橋小隊 027-231-9533
高崎小隊 027-323-1337
佐野小隊 0283-21-5939
熊谷小隊 048-522-2477
長野分隊 027-323-1337
仙台小隊 022-273-2368
若松小隊 027-323-1337
新潟小隊 025-229-2003
浪江小隊 027-323-1337
(震災被害のため現在休止中)

西日本連隊 (地区)

本部 大阪市北区天神橋
3-6-20
TEL 06-6351-0084

京都小隊 075-343-3726
天満小隊 06-6358-6679
泉尾小隊 06-6551-9187
西成小隊 06-6351-0084
神戸小隊 078-341-4594
岡山小隊 086-227-9029
福山小隊 084-926-3151
広島小隊 082-262-3776
呉小隊 0823-25-4794
高松分隊 086-227-9029
高知小隊 088-822-0365
八幡小隊 093-652-1584
福岡小隊 092-531-7418
鶴橋分隊、塚本分隊、
大津分隊、大牟田分隊

北海道連隊 (地区)

本部 札幌市北区北 22 条西 5 丁目 1-5
TEL 011-788-5352

札幌小隊 011-788-5352 釧路分隊 0155-23-4877
函館小隊 011-788-5352 帯広小隊 0155-23-4877
遠軽小隊 0158-42-3409

東京東海道連隊 (地区)

本部 東京都墨田区太平 4-11-3
TEL 03-6261-5701

上野小隊 03-3873-5386 杉並小隊 03-6256-8191
または 03-6261-5701 月島小隊 03-5860-2994
大森小隊 03-6272-9771 西新井小隊 03-3889-3894
川口小隊 03-6261-5701 横浜小隊 045-714-6060
神田小隊 03-3263-0848 横須賀分隊 045-714-6060
京橋小隊 03-3551-0337 静清小隊 054-365-8270
清瀬小隊 042-491-7600 浜松小隊 053-452-6717
江東小隊 03-6261-5702 名古屋小隊 052-935-7875
渋谷小隊 03-6261-2447

救世軍士官学校

〒166-0012
東京都杉並区和田1-40-17
TEL 03-6256-8262

救世軍士官 (伝道者) を養成する
学校です。(全寮制・2年間)



山室軍平記念救世軍資料館

〒166-0012 東京都杉並区和田2-21-39
TEL 03-6256-8194

日本における救世軍の資料や、山室軍平に関する文書、資料を所蔵。祝祭日を除く毎土曜に開館 (10時~16時) しています。
(ただし、指定参観希望日があれば、週日も受け付けいたします。)

- 札幌市せいいかん保育園
011-204-9560
- 桑園保育所 北海道札幌市
011-221-6630
- 保育所型認定こども園
菊水上町保育園 北海道札幌市
011-821-2879
- 佐野保育園 栃木県佐野市
0283-22-4081
(併設:学童保育「佐野こどもクラブ」)
- 呉保育所 広島県呉市
0823-21-4711
- 児童養護施設・機恵子寮 東京都
- 児童養護施設・世光寮 東京都
- 児童養護施設・希望館 大阪府
- 児童養護施設・愛光園 広島県
(併設:児童家庭支援センター「明日葉」)
- 児童養護施設・豊浜学寮 広島県
- 広島県東部・北部里親支援センター
「明日葉」広島県福山市 084-959-3903

- 婦人保護施設・婦人寮
- 婦人保護施設・新生寮

アルコール依存症者支援施設

- 自省館(救護施設)
東京都清瀬市 042-493-5374
- 男子社会奉仕センター
東京都杉並区 03-5860-2992

救世軍バザー場 東京都杉並区
中野富士見町(東京メトロ丸ノ内線)
より徒歩10分

江東出張所 東京都墨田区
錦糸町(東京メトロ半蔵門線/JR)
より徒歩10分

○営業時間や寄贈品受付等のお問い
合わせは両施設とも
03-5860-2992 まで

救世軍ブース記念病院

〒166-0012 東京都杉並区和田1-40-5
TEL 03-3381-7236 (代)
<https://boothhp.salvationarmy.or.jp>

〈診療科目〉内科、循環器内科、精神科、神経内科、
消化器内科(内視鏡)、漢方内科、整形外科、皮膚科、
リハビリテーション科、眼科、緩和ケア科(ホスピス)、
各種健康診断、成人病検診、199床(地域包括ケア
病棟32床、緩和ケア病棟(ホスピス)20床、療養病棟147床)

入院随時

(財)日本医療機能評価
機構認定病院。どなたで
もご利用いただけます

- 老人保健施設
ブース記念老人保健施設グレイス
東京都杉並区 03-3380-1248
(併設:ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブ
ース記念訪問介護ステーションルツ・ナオミ)
- 特別養護老人ホーム 恵みの家(ユニットケア型)
東京都杉並区 03-3381-7243

救世軍清瀬病院

〒204-0023 東京都清瀬市竹丘1-17-9
TEL 042-491-1411(代)
<https://kiyosehp.salvationarmy.or.jp>

〈診療科目〉内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、
リハビリテーション科、緩和ケア内科、142床(医療
療養型病床74床、介護療養型病床43床、緩和ケア病床<ホス
ピス>25床)

入院随時

(財)日本医療機能評価
機構認定病院。どなたで
もご利用いただけます

2024年介護医療院
シャロン開設予定

- 特別養護老人ホーム 恵泉ホーム
東京都清瀬市 042-493-5161
- ケアハウス いずみ(恵泉ホーム併設)
042-496-7575
(併設:ホームヘルパーステーションいずみ)

※●は、社会福祉法人 救世軍社会事業団の施設。
その他は、宗教法人 救世軍の施設

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、最新情報につきましては、各施設へお問い合わせ
いただくか、救世軍本営公式ホームページ及び各施設の公式ホームページをご確認ください
ますようお願いいたします。





昨年末 東京・銀座

第七回 救世軍社会鍋

俳句コンテスト受賞作品

今回は全国から四〇八作品の応募がありました。
左記の作品が受賞されました。(敬称略)

最優秀賞

懷妊を告げられし午後社会鍋

兵庫県 足立 有希

優秀賞

社会鍋戦禍の空もこんな青

徳島県 澤田 典子

高三は半透明よ社会鍋

埼玉県 吉瀬 千咲

社会福祉部長賞

少年の祈りは平和社会鍋

東京都 木浦 禮子

ほのぼの賞

社会なべいのちをつなぐバトンだよ

栃木県 佐々木 花

社会鍋見上げる空の星きれい

東京都 野村信廣

社会鍋地球の裏に届く愛

埼玉県 森田 章

佳作 眞鍋勝利、中村薫、渡辺廣之、堀川

一彦、小林加奈江、野村ひとみ、吉岡敏郎、

高橋恵子



↑子ども食堂でコロナ禍にあった子どもたちを支援



↑生活保護家庭への支援品配布



↑企業の社会貢献の動きとして、1年間社内で実施した社会鍋のご献金を届けていただきました。



社会鍋

11月30日は社会鍋の日

三脚に吊るされた鍋。赤と白のたすきを身に着けた人々が募金への協力を呼びかける声。「社会鍋」は、今から114年前に始められました。日本における街頭募金の先駆けとなりました。

日露戦争直後、戦地から帰還した多くの人々が職につけず街にあふれました。救世軍は、1906（明治39）年初頭から、労働紹介所、簡易食堂、木賃宿などの働きを始め、年末には、正月準備もできない境遇にある人々のために、餅やみかん、足袋などを詰め合わせた「慰問かご」を届ける運動を始めました。やがて、1909（明治42）年、「慰問かご」の中身を整えるための募金をする方法に切り替え、当時米国でおこなわれていた募金方法「クリスマス・ケトル（スープ壺をぶら下げるスタイル）」をア



慰問かご

レンジし、当時日本で一般的だった鉄鍋をぶら下げました。この募金鍋はいつしか「慈善鍋」と呼ばれ、多くの人々から協力を得られるようになりました。1921（大正10）年、その名前を「社会鍋」と改称。支援活動も全国に広がって、「社会鍋」は俳句の冬の季語になるほど人々に知られるようになりました。

託された資金は、現在、街頭生活者支援、高齢者・母子家庭、障がい者施設への支援、更生保護、女性・児童保護、人事相談、国内外の緊急災害被災者への支援などに活用させていただいています。

現在は、救世軍公式ホームページより、オンラインでも簡単に「社会鍋」にご協力いただけるようになりました。街頭での募金は、全国各地で12月よりおこなわれる予定です。どうぞ、今年もご協力をお願いいたします。

オンラインでの社会鍋は左記のQRコードで受け付けます



オンラインでの社会鍋は左記のQRコードで受け付けます

オンラインでの社会鍋は左記のQRコードで受け付けます

第8回救世軍社会鍋俳句コンテスト 12月1日(金)募集スタート

募集内容：社会鍋を題材にした未発表作品

提出物：一人2句まで

応募方法：●応募用紙（下記主催者へご請求ください）を郵便あるいはファックスで送付
●救世軍ホームページ「応募フォーム」に入力 ペンネーム不可 併号可

締め切り：2024年3月31日（日）（消印有効）※応募資格・費用はありません

賞：最優秀賞一句 優秀賞一句 社会福祉部長賞一句 ほのぼの賞三句

結果発表：『ときのこえ』紙上、救世軍公式ホームページにて

選者：唐澤南海子（現代俳句協会会員・「岳」無鑑査同人・第27回俳壇賞受賞・日本基督教団信濃町教会員）

著作権：応募作品の著作権は救世軍に帰属

主催：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
救世軍本営「救世軍社会鍋俳句コンテスト」係
TEL 03-3237-0881 FAX 03-3237-3588

神は、そのひとり子をお与えになったほどに、
世を愛された。ひとり子を信じる者が一人も
滅びないで、永遠の命を得るためである。

(聖書 ヨハネによる福音書 3章 16節)



社会鍋（街頭募金）への
皆様のご協力感谢您いたします。
今年もよろしく願ひいたします。

